

鳥取県森林環境保全税の あり方検討会 現地視察の概要報告資料

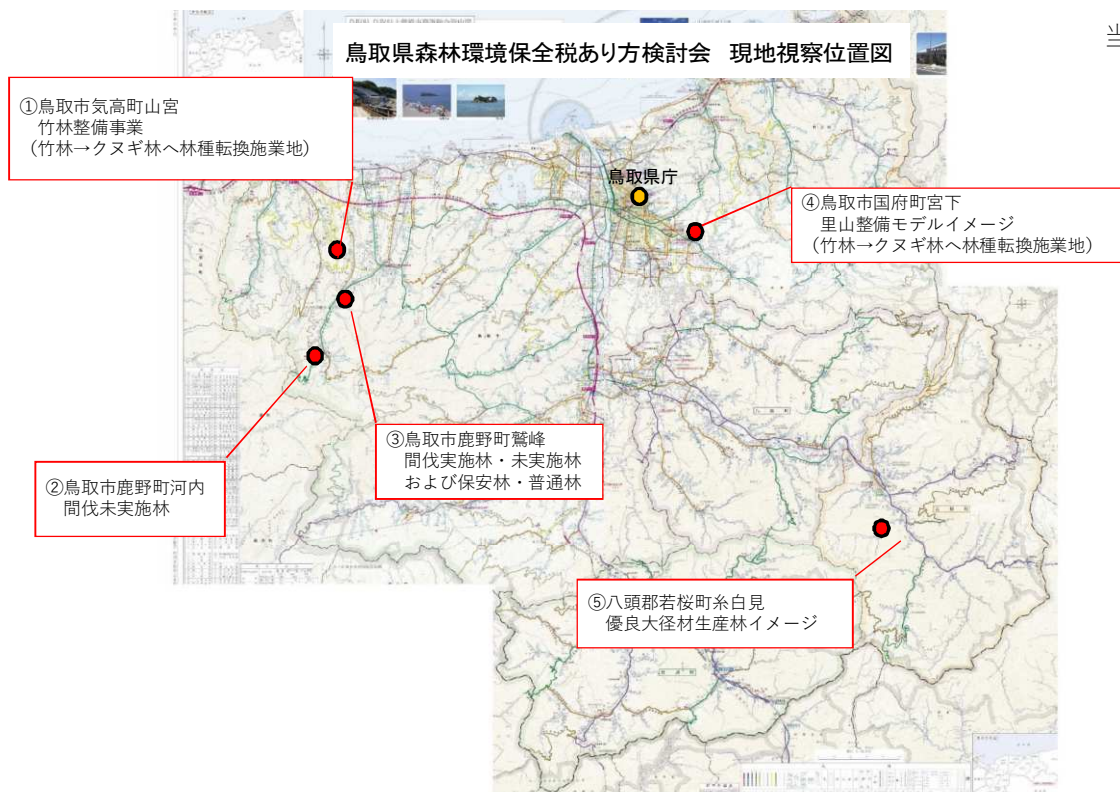
令和4年7月8日（金） 8時30分から17時

出席者名簿

区分	氏名	所属名
委員	沼尾 波子	東洋大学国際学部 教授
委員	荒田 鉄二	公立鳥取環境大学環境学部 教授
説明者	嶋沢 和幸 山本 文也	鳥取県東部森林組合 組合長 鳥取県東部森林組合 林産二課長
説明者	和田 好生	和田商店 代表 SUNIN製炭工業株式会社 取締役相談役
説明者	安部 泰己 山崎 将史	八頭町役場産業観光課 課長 八頭町役場産業観光課 主幹
説明者	中尾 和直 三島 昇 内尾 博之	森林・林業振興局森林づくり推進課 課長 森林・林業振興局林政企画課 参事 森林・林業振興局森林づくり推進課 課長補佐

視察内容等

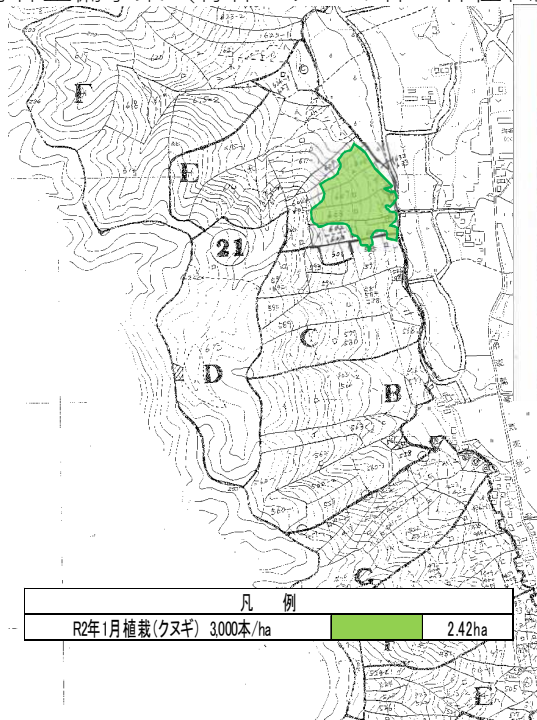
項目	内容	場所	対応者
森林視察①	竹林整備事業 (竹林→クヌギ林へ林種転換施業地)	鳥取市気高町山宮	鳥取県東部森林組合 嶋沢組合長、山本課長
森林視察②	間伐未実施林	鳥取市鹿野町河内	鳥取県東部森林組合 嶋沢組合長、山本課長
森林視察③	間伐実施林・未実施林および保安林・普通林	鳥取市鹿野町鷲峰	鳥取県東部森林組合 嶋沢組合長、山本課長
森林視察④	里山整備モデルイメージ (竹林→クヌギ林へ林種転換施業地)	鳥取市国府町宮下	鳥取県東部森林組合 嶋沢組合長、山本課長
森林視察⑤	優良大径材生産林イメージ	八頭郡若桜町糸白見	林政企画課 三島参事
協議事項①	竹林整備及び竹材利用について(和田商店)	県庁会議室	和田商店 和田代表
協議事項①	森林環境譲与税及び森林環境保全税の活用について(八頭町)	県庁会議室	八頭町役場産業観光課 安部課長、山崎主幹



当日現地資料

森林視察①

竹林整備事業（竹林→クヌギ林へ林種転換施業地）鳥取市気高町山宮



森林視察①

竹林整備事業（竹林→クヌギ林へ林種転換施業地）鳥取市気高町山宮

逢坂小学校との協働植樹活動（令和2年11月実施）



森林視察①

竹林整備事業（竹林→クヌギ林へ林種転換施業地）鳥取市気高町山宮

現地状況



【意見交換の概要】

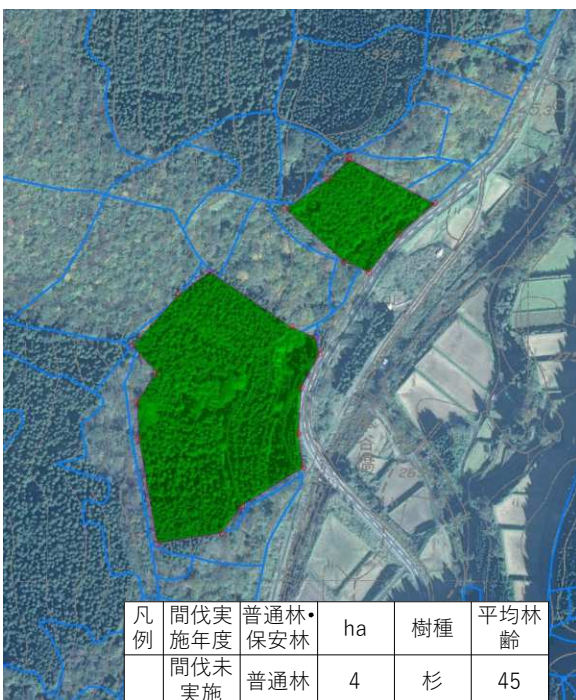
○鳥取県東部森林組合における竹林整備に対する取組や森林組合のメリット、収支分析及び将来の収支試算について説明を受けた。

→森林組合は、組合員からの要望を受けて竹林整備を行っているが、組合員負担を必要とすることから実施をためらう組合員が大半であるため、組合が奨励金として造林・保育に係る実行経費から補助金を差引いた金額を支援している。（組合員の負担なく実施）

→組合のメリットとして、組合員の要望に応えられること、また、長期経営管理委託を受けることで安定した施業量の確保につながることを、そして、伐採時には組合の必要経費を頂きながら、組合員にも利益を還元できること。

森林視察② 間伐未実施林（鳥取市鹿野町河内）

森林組合現地資料
及び現地状況



【意見交換の概要】

○間伐の遅れによる森林の状況について確認。

→県道沿いがあるが、森林内はうす暗く、下層植生はなく、土壌が露出し、枝も枯れあがり、手入れが遅れている。

○森林組合が取組む森林経営計画と市町村が行う森林経営管理制度について説明。

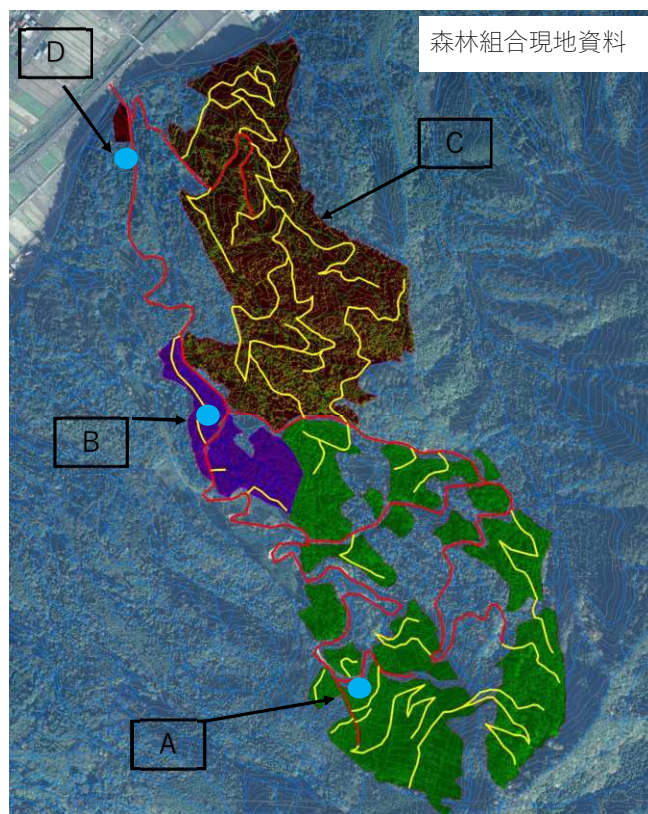
→森林組合は、ある程度経営的に採算がとれる森林を管理し、市町村が行う森林管理制度は、採算がとれない森林を管理する。

凡例	間伐実施年度	普通林・保安林	ha	樹種	平均林齢
	間伐未実施	普通林	4	杉	45

森林視察③ 間伐実施林・未実施林及び 保安林・普通林（鳥取市鹿野町鷲峰）

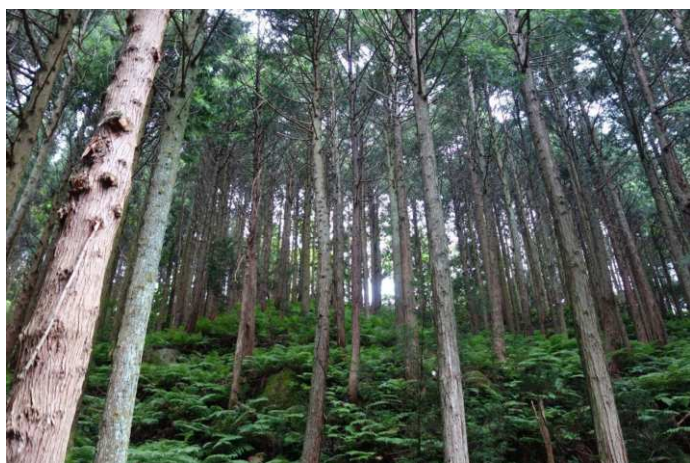
図面 番号	間伐実 施年度	保安林・ 普通林	面積 (ha)	搬出量 (m3)	林種	林齢
A	2015	保安林	25	2,750	ス/ヒ/キ	50
B	2015	普通林	4	360	ス/ヒ/キ	55
C	2016	保安林・ 普通林	27	3,240	ス/ヒ/キ	55
D	未実施	普通林	0.3	未実施	ヒ/キ	31
計			56.3	6,350		

凡例	名称
	基幹道
	森林作業道
	視察場所



現地状況

森林視察③ 未実施林・普通林（鳥取市鹿野町鷲峰）



【意見交換の概要】

○林齢も若く、木の大きさも小さく、また、林内は明るく、下層植生もあり健全な林分のため、今回は間伐を見送った森林を確認した。

→ 2～3年後には間伐が必要。

○隣接の広葉樹林においても、手入れ（管理）されなくても生態系が維持されていることを確認された。

森林視察③

間伐実施林・普通林（鳥取市鹿野町鷲峰）



【意見交換の概要】

○間伐を実施したことにより、下層植生が再生し、健全な林分であること確認。

○現場では保安林か普通林かの判断はできないことを確認。

→土砂流出保安林や土砂崩壊防備保安林など特別な保安林は、ある程度、地形等で判断できるが、水源かん養保安林になると、現場で保安林かどうかの判断はできない。

森林視察③

間伐実施林・保安林（鳥取市鹿野町鷲峰）



【意見交換の概要】

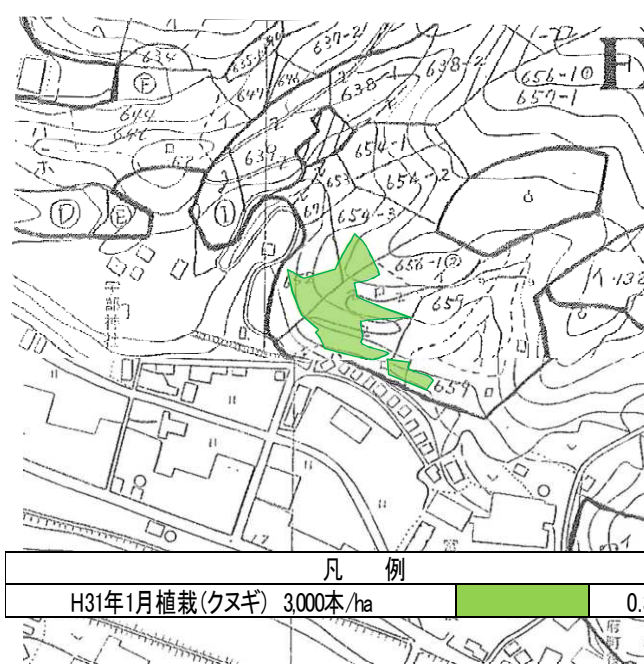
○間伐を実施したことにより、下層植生が再生し、健全な林分であることを確認。

○今後の生育状況を見て、もう一度間伐をするのか、皆伐をするのか判断を行う。

○保全税の活用は、この美しい森林の整備に活用すべき。また如何に県民にアピールするのが課題。

森林視察④ 里山整備モデルイメージ
 (竹林→クヌギ林へ林種転換施業地) (鳥取市国府町宮下)

森林組合現地資料



国府町宮下地内
平成30年8月30日



国府町宮下地内
令和4年6月27日

森林視察④
 里山整備モデルイメージ (竹林→クヌギ林へ林種転換施業地)

森林組合現地資料

宮下小学校との協働植樹活動 (平成31年1月実施)



森林視察④

里山整備モデルイメージ（竹林→クヌギ林へ林種転換施業地）



【意見交換の概要】

- 集落等の裏山で地域で活動できる里山整備をイメージする現場を視察。
- 里山整備のスキームについて協議。
 - 町内自治会が主体となり森林組合と協働した活動
 - NPOが主体となり森林組合、地域と協働して、自然体験プログラムを行う活動

森林視察⑤

優良大径材生産林イメージ(八頭郡若桜町糸白見)

若桜町における100万ドルの森づくり

当日現地資料



若桜町は、鳥取県の東南端に位置し、東は兵庫県、南は岡山県に接し、周囲を氷ノ山をはじめとする標高1,000m級の山々に囲まれた山間地域で、町の総面積19,918haの95%が森林で、その4分の1は国有林が占める。

江戸時代の鳥取藩林政史に「木材生産や植林が活発に行われた」との記録が残っている地域であり、特に戦後、植林が盛んに行われ、スギを主体とした人工林は、民有林面積の6割に達するなど豊富な森林資源を有する。

将来の目標林型・・・長伐期優良大径木生産

若桜町林業研究会では、平成9年に会員の1.5haの山を測量、毎木調査をし、皇居「豊明殿」※に使われているスギと同様に優良大径材生産のモデル林を目指して整備

50年後の姿（最終伐期：100年）

枝下：20～25m
 平均胸高直径 52cm
 ha 当たり 1,342 m³（売上金 100 万ドル!）

※「豊明殿」は、皇居の宮殿施設の中の一棟。

その「豊明殿」の天井板には、若桜町吉川から伐り出された樹齢200年以上のスギ材25本余りが使用されている。

鳥取県森林環境保全税による森林の保全・整備支援

◇森林の持つ多面的機能を高度発揮させるためには、間伐等によって健全な森林を育成する森林整備が必要不可欠

◇県民生活を守るために多くの役割を果たしている森林の間伐や、保安林の間伐を行うための森林作業道等の整備には、森林環境保全税により既存の補助事業に上乗せした支援が行われている。

古くから銘木を産出してきた若桜町では、林野の所有権が確立されていなかった時代に、択伐を基本とした森林経営の慣行制度があり、共同利用的性格の部落有地に、各戸がそれぞれ自由に造林を行い、その使用収益の対象林野を持続的に確保する手段として、成育木を抜き伐りして跡地に苗木を植え込むという方法がとられた。

現存する吉川地区の銘木林には、その面影が色濃く残っている。



現地状況

森林視察⑤ 優良大径材生産林イメージ(八頭郡若桜町糸白見)



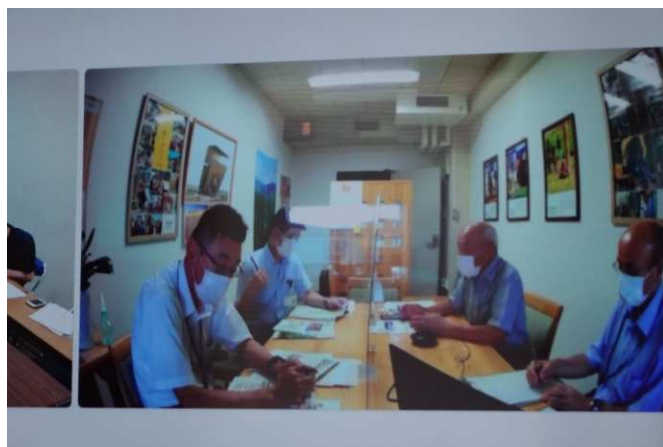
【意見交換の概要】

○地域で取り組まれている長伐期施業・優良大径生産林の山づくりの現地を視察。

森林視察⑤+α 間伐材搬出現場視察(八頭郡若桜町糸白見)



室内協議状況(リモート開催)



私たちは森林になくてもならない存在で在りたい

竹林整備事業の経緯

和田商店 代表
SUNIN製炭工業株式会社 創業者

和田 好生

2022年 7月 8日

私たちは森林になくてもならない存在でありたい

2 竹林整備事業の概要⑥

(3) 竹林の現状と整備状況



■ 整備前



■ 整備後

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑦

(3) 竹林の現状と整備状況

■ 整備前



■ 整備後

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑧

(3) 竹林の現状と整備状況

■ 破碎現場



■ 破碎済チップ

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑩

(4) お客様 竹粉炭による飼料改善

お客様 **大江の郷自然牧場** 様

飼料

- 鶏のエサに自家配合
(鶏の体調維持・下痢対策)
- 養鶏所の消臭効果



星炭 9mmアンダー(粉炭)
 使い道は、果樹園、畑、ハウスなどの農家さんにご利用頂いています。
 鳥取県の有名な大江ノ郷自然牧場様でもお使い頂いています。
 そのままでもOK! 砕いてもOK!
 土壌に落ちやすくしっかり炭素を供給します。
※参考価格 1kg (30g 199円)



© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑪

(4) お客様 竹粉炭による菌床材改善(その1)

お客様 **(有)北村きのご園** 様

菌床材

商品を紹介後、1年間かけて試作研究を行っていただき納品に至る

- 採取期間の23%短縮
(39日→30日)
- 収量の増加 12%向上
(144.8→175.7g)



星炭 6mmアンダー(微粉炭)
 使い道は、土壌改良、菌床にご利用頂いています。
 鳥取県内有名な企業様にも使用して頂いています。
※参考価格 1kg (30g 199円)



© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑨

(3) 竹林の現状と整備状況



積込み前の竹棹



竹棹の積込み

カキいかだ



© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要⑬

(4) お客様

カキいかだ

カキいかだ

赤穂市漁業協同組合様

需要安定 絶好の取引先
里山を守り、海も豊かに

放置竹林を生かせ 動きたしたSDGs

カキいかだに活路

肉厚で丈夫な鳥取産は最適

放置竹林を生かせ 動きたしたSDGs

鳥取県内の放置竹林が、路肩のゴミのたまり場や竹藪の発生、踏み荒らしによる土壌の劣化、さらには竹の倒壊による安全上の懸念を生み出している。鳥取県は、放置竹林の活用を推進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的として、放置竹林の活用を推進している。鳥取県は、放置竹林の活用を推進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的として、放置竹林の活用を推進している。

カキいかだは、鳥取県産の竹を原料として、環境に優しい素材として活用されている。カキいかだは、鳥取県産の竹を原料として、環境に優しい素材として活用されている。カキいかだは、鳥取県産の竹を原料として、環境に優しい素材として活用されている。

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

1 なぜ竹林整備事業を起業したのか

地域住民の皆さんからの要望に応える

- (1) 竹林が田畑の日照時間を短くしている。
- (2) 風雪などの倒竹による交通障害が発生している。
- (3) 民家に隣接する放置竹林がイノシシの棲み処になっており、農産物被害及び住民の安全が脅かされている。
- (4) タケノコの収穫が出来るようにしてほしい。
- (5) 景観を取り戻したい。

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

2 竹林整備事業の概要^⑬

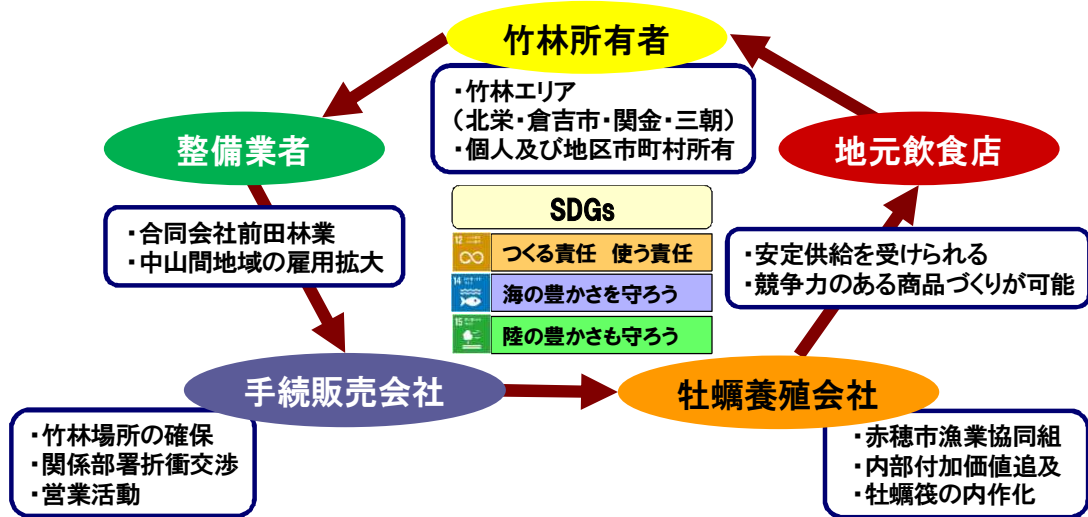
(6) 特記事項 整備後の地区住民の皆さんの声

整備場所	所有者	地区住民の皆さんの声
倉吉市 上古川字後野口	谷本明憲 様 桑垣智志 様	風雪による道路障害がなくなる。 景観が良くなった。 筍が良く取れる様になる。
倉吉市 志津字野口	前田清治 様 梅林香秀 様	水路管理が容易になった。 田畑の日照時間が長くなった。 特に今年のスイカの出来に期待している。
倉吉市 小鴨地区	森和哉 様 中井俊郎 様 香岳寺その他4軒	景観が良くなった。 筍が良く取れる様になった。
倉吉市 上古川前谷田	谷本明憲 様 桑垣智志 様	梨園の日照時間が長くなり感謝する。 筍が良く取れる様になる。 *来春はタケノコ狩りの行事を計画する。

© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.

4 まとめ

竹林整備事業は持続可能な 循環型社会を実現する



© 2022 WADA&COMPANY, All Rights Reserved.